参考 米一俵の価格

平田幸市

天明元年(一七八一)以降逐年列記されているが、旧藩制当時分は、その元年分のみ掲記せり。

年紀	価格	備考
何れも元年の代価		
天明	一円七銭	
寛政	一五	
享和	一七	
文化	一二	
文政	一六	
天保	三〇	
弘化	三九	
嘉永	三五	
安政	四〇	
万延	七九	
文久	六五	
元治	七八	
慶応	一四二	

紀年	価格	備考
明治 元	一円六九	
二	三一二	
三	一八七	
四	一一二	
五	八〇	
六	一二〇	地租改正
七	一八七	
八	二〇五	
九	一一八	
一〇	一三四	西南の役
一一	一九二	
一二	二六四	
一三	四八〇	
一四	三二八	
一五	二〇八	日本銀行創立
一六	一二五	
一七	一八四	
一八	一七三	伊藤内閣
一九	一五五	
二〇	一四八	町村制施行
二一	一四二	黒田内閣
二二	二〇〇	山県内閣
二三	二〇〇	

紀年	価格	備考
明治 二四	二円四六	松方内閣
二五	二二八	伊藤内閣
二六	二六六	
二七	二六六	日清戦争
二八	四〇〇	
二九	五七二	松方内閣
三〇	四一六	伊藤内閣
三一	三二八	大隈内閣 山県内閣
三二	四〇〇	産組発足
三三	三七六	伊藤内閣
三四	三七六	桂内閣
三五	四九六	
三六	四三六	
三七	三六	日露戦争
三八	五二八	
三九	五二八	西園寺内閣
四〇	四七二	
四一	四九二	桂内閣
四二	四〇〇	米検査制度
四三	五三六	
四四	六一六	西園寺内閣
大正 元	八三二	桂内閣
二	八三二	山本内閣

大正	三	七二八	大隈内閣
	四	四三二	
	五	五一二	寺内内閣
	六	六〇〇	
	七	八四八	原内閣
	八	一四六〇	戰争 米騒動
	九	二〇〇	総人口五五〇万人
	一〇	一四二〇	高橋内閣
	一一	一〇二〇	
	一二	一二四〇	関東大震災
	一三	一五三〇	清浦加藤内閣
	一四	一三六〇	
	一五	一二七〇	昭和改元 若槻内閣
昭和	二	一〇八五	田中内閣
	三	一〇六〇	
	四	一〇四〇	浜口内閣
	五	六二八	
	六	六五〇	若槻内閣 大養内閣
	七	八二〇	満州事変 斎藤内閣
	八	一〇八〇	
	九	一〇八〇	岡田内閣
	一〇	一〇九〇	
	一一	一一八〇	広田内閣
	一二	一三九〇	林 近衛内閣

昭和	一三	一三四二	平沼内閣 阿部内閣
	一四	一六二五	
	一五	一六三〇	米内内閣 近衛内閣
	一六	一六五〇	開戰 東条内閣
	一七	一六九〇	
	一八	一八四二	
	一九	一八八〇	小磯内閣
	二〇	六〇〇	終戰
	二一	二二〇〇	吉田内閣
	二二	七〇〇〇	芦田内閣 農地改革
	二三	一四八七〇〇	
	二四	一七二五〇〇	吉田内閣
	二五	二〇六四〇〇	
	二六	二八二二〇〇	
	二七	三〇〇〇〇〇	
	二八	三二八〇〇〇	鳩山内閣
	二九	三六四八〇〇	
	三〇	三九〇二〇〇	
	三一	三九九五〇〇	石橋内閣
	三二	三八五〇〇〇	岸内閣
	三三	三九六〇〇〇	
	三四	三九六六〇〇	伊勢湾台風
	三五	四一一七〇〇	池田内閣
	三六	四二八九〇〇	

昭和	三七	四八八二〇〇	
	三八	五〇三〇〇〇	
	三九	五六一〇〇〇	佐藤内閣
	四〇	六三二〇〇〇	
	四一	七一五〇〇〇	
	四二	七六三二〇〇	
	四三	八二六八〇〇	
	四四		
	四五		

この資料は去る六月中旬日出に行った時、伊藤原忠氏に案内されて鶴泉寺・松屋寺・致道館等一巡した節、全氏に提供されたものである。原様については不明で、責任はもてないと言う。造像とは多分四平像と思うが、金位にしても明治以後は四分で表示されるが藩政時代は各領内迄で四分の統一はなかったのではなはだ不明瞭なものとは思うが、米はいつの時代にも万人生活にきりはなすことのできないものだけに何かの示唆、参考になると思うので転載した次第である。

—了—